

各位

2020年4月10日
KNT-CTホールディングス株式会社
総務広報部（広報）担当：岩本
TEL：03-6863-0048

旅行取扱状況の概観（令和2年2月分）

下記、月次取扱額は、近畿日本ツーリスト北海道、近畿日本ツーリスト東北、近畿日本ツーリスト関東、近畿日本ツーリスト首都圏、近畿日本ツーリスト中部、近畿日本ツーリスト関西、近畿日本ツーリスト中国四国、近畿日本ツーリスト九州、近畿日本ツーリストコーポレートビジネス、KNT-CT グローバルトラベル、KNT-CT ウェブトラベル、クラブツーリズム、ユナイテッドツアーズ、KNT 商事の合算額となります。

記

海外旅行の取り扱い、一般団体は前年比61.4%と前年を下回り、学生団体は同112.3%と前年を上回ったが、団体旅行合計で同73.8%と前年を下回った。企画旅行については前年比92.9%と前年を下回り、個人旅行については同71.5%と前年を下回った。

この結果、海外旅行総取扱額としては、前年比81.8%と前年を下回った。

国内旅行の取り扱い、一般団体は前年比77.6%、学生団体は同85.9%と前年を下回り、団体旅行合計で同81.8%と前年を下回った。企画旅行については前年比89.1%と前年を下回り、個人旅行については同56.3%と前年を下回った。

この結果、国内旅行総取扱額としては、前年比81.0%と前年を下回った。

外国人旅行は、前年比54.8%と前年を下回った。

以上の結果、ホールディングス主要会社の2月の総取扱額は前年比80.5%となり、前年を下回った。

【区分別の状況】

1. 海外旅行

海外団体については、一般団体は、新型コロナウイルス感染者拡大による旅行の中止や延期の影響を受け、前年比61.4%と前年を下回った。学生団体は、同イベントリスクによる影響を受けたものの、修学旅行や研修旅行においてアジア方面の取扱人数が減少した一方で、オセアニアやヨーロッパ方面の取扱人数が増加し、同112.3%と前年を上回った。この結果、海外団体旅行合計で前年比73.8%と前年を下回った。

海外企画旅行については、前年比92.9%と前年を下回った。商品別では、ホリデイは同イベントリスクによる旅行予約の取消の影響を受けたものの、方面別取扱人数の状況で、ハワイやマイクロネシア、オセアニア方面などは前年を上回りホリデイを牽引した。

クラブツーリズムは、ヨーロッパでは西欧、北欧が堅持したものの、新型コロナウイルスの感染拡大により海外旅行需要が全般的に冷え込み、北米、オセアニアは苦戦することとなり、中国、アジア、東南アジアにおいては、大幅に販売を減少させることとなった。以上の結果、海外旅行の総取扱額としては、前年比81.8%と前年を下回った。

2. 外国人旅行

外国人旅行は、新型コロナウイルス感染者拡大による旅行の中止や延期の影響を受け、個人旅行の宿泊商品や団体旅行の取扱人数が減少し、前年比54.8%と前年を下回った。

3. 国内旅行

国内団体については、一般団体は、新型コロナウイルス感染者拡大による旅行の中止や延期の影響を受け、前年比77.6%と前年を下回った。学生団体は、同イベントリスクによる旅行の中止や延期の影響を受け、同85.9%と前年を下回った。この結果、国内団体旅行合計で前年比81.8%と前年を下回った。

国内企画旅行については、前年比89.1%と前年を下回った。商品別では、メイトは同イベントリスクによる旅行予約の取消の影響を受け、方面別取扱人数の状況において、東北や中国方面は堅調に推移したが、その他の方面は不調であった。クラブツーリズムは、新型コロナウイルスの感染拡大により、国内旅行においても全般的に需要が冷え込み、大きく販売を減少させることとなった。

方面別では、東海・伊勢・南紀は堅持したものの、北海道、東北、関東、中部、北陸、西日本においては不調が続くこととなった。

以上の結果、国内旅行の総取扱額としては、前年比81.0%と前年を下回った。

以上